



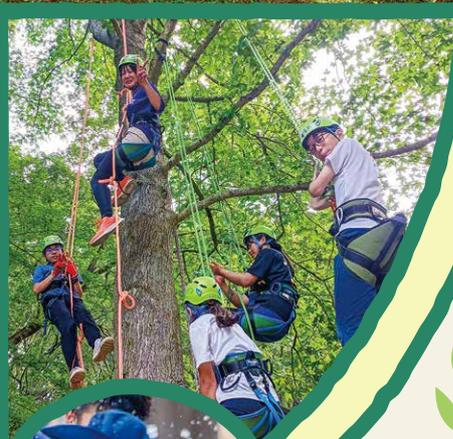
COMPASS

コンパス

www.scout.or.jp



2024
のぞいてみよう、
ボーイスカウトの夏！



CONTENTS

- 02 第13回日本アグーナリー

- 08 日本ローバームート 2024

- 12 第43回世界スカウト会議

- 14 イギリス・エセックス
国際ジャンボリー派遣

韓日スカウトフォーラム派遣
(韓国スカウト連盟招待計画)

- 15 全国で展開されている
ボーイスカウトの夏季事業

- 16 第13回群馬県
ベンチャースカウト大会

- 17 第19回長野県キャンボリー

- 18 第3回ボーイスカウト東海4県連盟
合同野営大会

- 19 第20回兵庫連盟合同野営大会
(Hyocam 2024)

- 20 Hyogo High Adventure
Challenge 2024 (HHAC2024)

- 21 第17回愛媛県連盟野営大会

- 22 第10回九州・沖縄ブロック野営大会
(10KC)

- 23 2026年夏季！広島県神石高原町にて開催
第19回日本スカウトジャンボリー



第13回日本ア

～「共生社会」の実現を目指す国際的なキ

8月8日～12日、福島県・国立磐梯青少年交流の家にて開催した第13回日本アグーナリー。約950さまざまなことに挑戦し、お互いに支え合うことでお互いの理解を深め、個性を認め合うことを学び大会でした。子どもたちの生き生きした表情あふれる充実した5日間をご紹介します。



日本アグーナリーとは

日本アグーナリーは、4年を周期に、障がいのあるスカウト（特別な配慮を必要とするスカウト）が相集い、海外を含めた多くのスカウトたちとのキャンプ生活を通じて、スカウト仲間としての心の触れ合いと共通体験の中から、明るい希望を持って積極的に社会生活に参加することを目的に開催してきました。第8回大会までは、障がいのあるスカウトの大会としていましたが、第9回大会では、障がいのあるスカウトのためだけの大会ではなく、参加するすべてのスカウト・指導者が、期間中の諸活動をつうじて共に生きることを学ぶ「学習の場」とし、第10回大会以降は、障がいの有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し支え合う「共生する社会」を実現するという社会のニーズに応えることを目指して開催しています。



大会のシンボルマーク

会場である国立磐梯青少年交流の家から望むことができるであろう「大磐梯」と「櫛ヶ峰」のシルエットを用いました。シルエットの中には丸が連結して日本列島を形成し、全国から集まったスカウトをイメージしています。さらに Agoonree の中の「o」を福島の位置を示すプロットのアイコンにしました。

デザイン／福田 真幸（大阪連盟箕面第2団）

大会概要

- 名称
第13回日本アグーナリー
- 日程
2024年8月8日（木）～8月12日（月・祝） ※本部スタッフは8月7日（水）に入场し、12日に退場
- 会場
福島県・国立磐梯青少年交流の家 〒969-3103 福島県耶麻郡猪苗代町字五輪原7136-1
- 大会目標
1. 国内外の特別な配慮を必要とする青少年が相集い、自信と勇氣に満ちた生活態度を自ら獲得できるよう努力する。
2. 障がいのある人への理解を深め、合理的な配慮や支援が行えるようにする。
3. 磐梯山麓の豊かな自然の中でのキャンプ生活をつうじて、自然・人・社会との共生の大切さを体感する。
- 大会の目的
日本アグーナリーは、キャンプを通じて、すべての参加者が障がいについての理解を深め、人格と個性を尊重し支え合えあう社会の実現を目指すことを目的とする。
- テーマ
「We Can! ふかめよう友情（ゆうじょう）、ひろげよう絆（きずな）」
- 参加人数
1. 参加人員 950人
①参加隊 570人（国内487人、海外27人、ガールスカウト16人、一般（国内）9人、一般（韓国クインサ）31人 ②本部スタッフ 380人（日本連盟役員含む）
2. デイジビター（日帰り参加者）295人（8月9日22人、8月10日102人、8月11日171人）
3. 大会運営協力者
場内外プログラム、磐梯の夕べなどで、北海道・東北ブロックの各県連盟をはじめ、須賀川商工会議所青年部、猪苗代青年会議所、（株）いなびし、（有）エンターゲート、チーム獅、あさか開成高校などから、ご協力をいただきました。
- 主催
公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
- 後援
文部科学省、福島県、福島県教育委員会、猪苗代町、猪苗代町教育委員会

アグーナリー

キャンプ大会～

人が集い、自然あふれる環境の中で、障がいの有無に関わらず仲間とともに
ました。10日には佳子内親王殿下のお成り^{たまわ}を賜り、より盛り上がりみせた

8月7日(水)

曇りのち雨



本部スタッフ集合、研修会

全国から大会運営のための本部スタッフ約400人が集合し、全スタッフを対象に、大会を安全に運営するための研修会などを行いました。そして、翌日からはじまる大会のための準備作業を行いました。



8月8日(木)

曇りのち晴

参加隊集合、開会式

午前中は引き続きスタッフによる準備作業を行いました。午後からは全国から参加隊がぞくぞくと入場し、設営が始まりました。参加隊は、「避難訓練ゲーム」に取り組み、ゲームをつうじて避難経路の確認などを行いました。

夜には「開会式」を行い、参加者は自分たちの旗を持って入場しました。安江伸夫文部科学大臣政務官をはじめ多くのご来賓の方にお越しいただき、激励のお言葉をいただきました。



8月9日(金)

☀️▶️☁️ 晴れのち曇り

場内プログラム、フォーラム

会場内に約20のプログラムブースがあり、子どもたちはドリムアワード(提示された取り組みをクリアすることで授与される賞)の獲得に向け、工作や水遊びなどさまざまなプログラムに挑戦しました。障がいの有無にかかわらず参加できるプログラムでは、挑戦する気持ちや達成感などを得ることができました。

夜には「フォーラム」を行い、各参加隊の代表者や海外からの参加者がそれぞれグループに分かれてディスカッションを行い、アグーナリーをとおしてやってみたいことや大会が終わった後にどのようなスカウト活動がやりたいかなどを話しました。



アグーナリーレンジャー



ドリムアワードに挑戦!



ドリムドームを作ろう!



竹細工



キャップハンディトレイル



上/水合戦!
中/高速道路のふれあい体験
下/そなえよつねに



ヤクルトマンと学ぶ「腸」の重要性



シルクプリント



上/ジャンボつるだ!
下/信仰奨励



革細工



ぼんだいカレーを作ろう!



アグーナリーフォーラム



8月10日(土)

曇りのち雨

場内プログラム、交流の夕べ

昨日に引き続き、場内プログラムを展開しました。

佳子内親王殿下の御臨席を賜り、場内プログラムの御視察では、スカウトとともに、ドリームドーム作りをお手伝いいただきました。ドームには大会に対する願いを貼っていただきました。その後、代表スカウトと親しく御懇談を賜り、食堂では、成人およびスカウトの奉仕活動を御視察いただくとともに、配膳の御支援を賜りました。そして、交流の夕べにおいては、おこたばを賜り、国内外の参加隊の演舞を御覧いただきました。



交流の夕べでの佳子内親王殿下のおこたば

本日、豊かな自然に囲まれた福島県の磐梯山麓において第13回日本アグーナリーの交流の夕べが開催され、皆様にお会いできましたこと、大変うれしく思います。また、この事業の実施にあたり力を尽くしてこられたスカウトの皆様、指導者やスタッフ、関係者の皆様に深く敬意を表します。

今回のアグーナリーは「We Can! ふかめよう友情、ひろげよう絆」をテーマにして開催されています。この美しい大自然の中で、全国から、また世界から集まった仲間とともに過ごすことは大変すてきな機会だと思います。先ほどはドリームドームをつくらうというプログラムを見学し、だんだんと出来上がっていくドームからあふれる夢を感じました。

また、スカウトの代表の方々にさまざまなお話を伺い、頼もしく感じました。夕食の時間にカレーの配膳をお手伝いできたことも楽しいひとときでした。皆様が協力しながら熱心にプログラムに参加

し、より良い社会を目指して活動されていることはとても素晴らしいことだと思います。

この催しや、さまざまな取り組みをつうじて、国や地域、言語、障害など、自分とは異なる背景や状況に対する理解が深まっていくことを願っています。そしてこのような理解の広がりにより、誰もが安心して暮らせる社会になること、誰もがより幅広い選択肢を持てる社会になること、そして、これらが当たり前になることを強く願います。

おわりに、今回のアグーナリーが皆様の大切な思い出になるとともに、皆様がこれからもより良い社会の実現に向けて一層ご活躍されることを心から願い、私のあいさつといたします。ありがとうございました。



■ 特別来賓

佳子内親王殿下

■ 来賓

国会議員

安江 伸夫 文部科学大臣政務官
 玄葉 光一郎 衆議院議員
 渡辺 博道 衆議院議員
 亀岡 偉民 代理 衆議院議員

文部科学省

平野 誠 大臣官房参事官総合教育政策局
 社会教育振興総括官

福島県

内堀 雅雄 県知事、ボーイスカウト福島連盟長
 大沼 博文 県教育委員会教育長
 佐藤 郁雄 県議会議長
 江花 圭司 県議会議長
 佐藤 義憲 同
 長尾 トモ子 同
 佐久間 俊男 同
 猪俣 明伸 同
 安田 成一 同
 山田 真太郎 同

吉田 誠

小林 雄 同
 西村 則昌 福島県特別支援学校校長会会長
 猪苗代町 町長
 二瓶 盛一 町議会議長
 後藤 公男 町教育委員会教育長
 宇南山 忠明 町教育委員会生涯学習課長
 近隣市町村 須賀川市長
 大寺 正晃 三島町長
 矢澤 源成 同

寺木 誠伸

高梨 哲夫 会津若松市教育委員会 教育長
 佐川 正人 磐梯町教育委員会 教育長
 関連団体 喜多方市教育委員会教育長
 西畑 誠 株式会社ゴージャスグループ
 代表取締役社長
 橋本 健志 同 常務取締役
 古川 和 独立行政法人
 国立青少年教育振興機構理事
 長谷川 和弘 独立行政法人
 国立青少年教育振興機構理事
 小野 保 国立磐梯青少年交流の家所長
 伊藤 恵子 ガールスカウト福島県連盟副連盟長
 川上 誠太郎 広島県神石高原町未来創造課 課長

伊藤 邦夫

松永 紀男 広島県神石高原町未来創造課
 まちづくり推進係 主任
 株式会社エム福島 代表取締役

※敬称略・順不同
 ※役職等は大会当時
 その他、日本連盟役員、都道府県連盟役員の方々の訪問もありました。

8月11日(日)

曇り

場外プログラム、ドリームアワード授与 磐梯の夕べ

この日は会場の外に出て福島名産の工芸品作り体験やお城の見学などさまざまな場外プログラムを展開しました。しかしながらこの日は台風の接近により一部の施設には訪問することができませんでした。

その間、場内ではディビジター(日帰り参加者)のためにプログラムを展開し、また、チャレンジクルー(高校生年代のスカウト)は、各種の技能章講習会(手話章、介護章、看護章、点字章、防災章)に参加し、細目を履修しました。

夜には「磐梯の夕べ」と称してボーイスカウト福島連盟や地元企業、北海道・東北ブロックの各県連盟の方々による出展やステージショーが披露されました。



8月12日(月・祝)

曇り時々雨

閉会式

最終日です。朝から「閉会式」を行い、フォーラムで話し合った内容の発表や大会の振り返り動画の上映などを行いました。各地から集まった参加者は大会ソングである「かがやけアグーナリー」をみんなで歌い、4年後の大会での再会を願いました。



■プログラム他 各種協力

アイコム株式会社
赤城乳業株式会社
株式会社ゴーゴーカーグループ
ソニー・太陽株式会社

パロアルトネットワークス株式会社
東日本高速道路株式会社 (NEXCO 東日本)
ビクトリノックスジャパン株式会社
株式会社ヤクルト本社

■協賛



■助成



■大会役員

大会長
水野 正人 日本連盟理事長
副大会長
出田 行徳 日本連盟専務理事
大会長付
木村 寿宏 日本連盟理事・副総コミッショナー

運営本部長
高崎 友延 13NA 実行委員長・福島連盟副連盟長
副運営本部長
和田 剛和 13NA 副実行委員長・日本連盟常務理事
副運営本部長、安全・機管理室長
大槻 富寛 13NA 副実行委員長 (福島)

副運営本部長
櫻井 康博 13NA 副実行委員長 (東京)
総合サービスセンター長
梶原 圭介 13NA 実行委員 (福島)
生活サービスセンター長
黒田 茂 13NA 実行委員 (兵庫)

活動サービスセンター長
植田 明子 13NA 実行委員 (静岡)
チャレンジクルーセンター長
河村 賢久 13NA 実行委員 (山口)
一般参加サービスセンター長
大関 宏之 13NA 実行委員 (福島)

NIPPON ROVER MOOT 2024

NIPPON ROVER MOOT 2024+
SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN



日本ローバームート2024

2024年9月3日(火)～8日(日)、ボーイスカウト日本連盟那須野営場で日本ローバームート2024を開催しました。国内およびアジア太平洋地域からローバースカウト年代(18～26歳)の青少年・指導者が計311人集まりました。世界スカウト機構ではローバースカウト年代の野営大会を「MOOT」と呼んでいます。MOOTが日本で開催されるのは実に19年ぶりで、日本連盟主催事業としても歴史に残る大会となりました。



ローバースカウト年代による

ローバースカウト年代のための野営大会

今大会は「日本スカウトジャンボリー」や「日本アグーナリー」と同様、日本連盟主催の事業ですが、大きく違う点は大会の企画・計画・運営のすべてをローバースカウト年代のスカウト・指導者が行った点です。全国から実行委員を募集するとともに、大会当日の運営スタッフも公募し、総勢48人が集まり、大会運営を行いました。

展開されたプログラムは、ラフティングやパラグライダーなどの場外で行う高度なアクティビティや、那須塩原市森林組合や国連 UNHCR 協会など計9つの外部組織と連携したプログラムもありました。さらにはこれまで積み重ねたスカウト活動を振り返り今後の自身の人生について考えるプログラムやユースリーダーシップトレーニングなど、ローバースカウト年代ならではの多種多様なプログラムがありました。





岡本陸実行委員長挨拶



川瀬政美大会長による開会宣言



外国派遣隊

開会式

大会2日目にあたる9月4日、GUNEI 三島ホールにて開会式が行われ、川瀬政美大会長が19年ぶりの日本ローバームートの開会を宣言しました。



場内プログラム

場内プログラムは野営場内もしくは野営場付近で展開される半日単位のプログラムです。全16種類のプログラムがあり、参加者は3日間かけて5つのプログラムを体験しました。

NIPPON ROVER MOOT 2024



茶臼岳登山



鬼怒川ラフティング

場外プログラム

大会4日目は野営場でプログラムを行いました。ラフティング・パラグライダー・茶臼岳登山・日光観光・レザークラフトの全5種類。栃木県の自然や観光地を活かしたプログラムを展開しました。



大集会

大会4日目の夜はメインイベントである大集会を行いました。メイン MC の盛り上げと参加者の出し物により会場はローバースカウトの熱気に包まれました。



有志によるバンド演奏



マレーシア派遣隊による出し物

閉会式

大会最終日、野営場内で閉会式を行いました。外国派遣隊へ参加証と記念品として盾を贈呈しました。最後にサプライズで参加者からサービスチームへ弥栄（ボーイスカウトのエール）がおくられました。



枝迫雄大 大会長付による閉会宣言



グルーリーダージョーティング



大会概要

大会期間 2024年9月3日(火)～9月8日(日)

会場 ボーイスカウト日本連盟那須野営場

- 大会目標
1. 自己への理解を深め、自身の将来について考える機会を提供する。
 2. 開催地域の文化や歴史への理解を深め、地域と直接的な関わりをもてる場を提供する。
 3. 参加者や参加者の生きる社会に関し、影響を及ぼす問題に対して意見を交わす機会を提供する。
 4. 参加者の創意工夫を促し、主体性、リーダーシップスキルを伸ばす機会を提供する。
 5. 参加者の多様性を尊重し、多様なニーズに配慮する。
 6. 他国連盟スカウトを招待し、国際交流を促す。
 7. エンターテインメントとレクリエーションを提供する。

テーマ momentum

参加人数 311人(国内283人、海外4の国と地域から28人)

主催 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

運営 日本ローバームート2024実行委員会



第43回世界スカウト会議

3年に1度開催され、スカウト運動の中長期計画や各国が抱える課題などが議論される世界スカウト会議。この夏エジプト・カイロで開催された第43回世界スカウト会議には、世界176の国と地域から約2,000人（オンライン参加含む）が集いました。



第43回世界スカウト会議

■ 大会概要

会議期間 2024年8月17日(土)～8月23日(金) 7日間

会場 エジプト・カイロ、インターコンチネンタル・カイロシティスターズホテル

参加者 スカウト2,000人以上、世界176の国と地域が参加

主催 世界スカウト機構 (WOSM)

テーマ A new adventure (新たなアドベンチャー)

■ 日本代表团

代表6人

- (1) 水野 正人／理事長〔首席代表〕
- (2) 出田 行徳／専務理事
- (3) 村田 禎章／総コミッショナー
- (4) 松平 頼昌／国際コミッショナー
- (5) 大久保 秀人／事務局長
- (6) 野元 心結／青年代表〔神奈川〕

職をもって参加 1人

中野 まり／日本連盟相談役(元世界スカウト委員) 世界会議参加資格認定委員会構成員として参加

オブザーバー 7人

- (7) 木下 航太／青年参加者〔東京〕
- (8) 河野 ハルカ／青年参加者〔愛媛〕
- (9) 木村 直登／日本連盟理事・広報委員長
- (10) 鈴木 武道／神奈川連盟横浜第87団団委員長(元世界スカウト委員)
- (11) 鈴木 令子／日本連盟相談役(元 APR スカウト委員会副委員長)
- (12) 山田 哲司／事務局職員
- (13) 小高 響子／事務局職員



韓国代表团と集合写真

コロナ禍を経て、世界スカウト会議が対面で開催されるのはアゼルバイジャンでの2017年の開催以来7年ぶりとなりました。会議中にはボーイスカウトの国際キャンプ大会である“世界スカウトジャンボリー”の開催地の投票や、次期世界スカウト委員の選挙が行われた他、世界規模の運動として今後10年のビジョン、直近3カ年の戦略などについて議論が交わされました。



世界のスカウト運動の新たなビジョンの説明の様子

■ 主要な議題

- 世界スカウト機構への新規加盟国および地域の承認
- 2024年から2027年の世界スカウト委員12人の選出
- 今後の世界スカウト行事開催国の決定
 - (1) 第17回世界スカウトムート
 - (2) 第44回世界スカウト会議
 - (3) 第27回世界スカウトジャンボリー
- スカウト運動の今後の戦略の議論
- 今後の世界3カ年計画の議論 “the next Strategy for Scouting”
- 今後の世界イベントの方針
- 各国および各地域からの活動事例紹介



日本からの代表団のメンバー

今回選出された新たな世界スカウト委員のメンバー



次回の世界スカウト会議の開催地はイギリスに決定!



2031年の世界スカウトジャンボリー（国際キャンプ大会）開催地はデンマークに決定!



イギリス・エセックス 国際ジャンボリー派遣

エセックス国際ジャンボリーは、ボーイスカウト(小学校6年生~中学校3年生)・ベンチャースカウト(中学校3年生~17歳)年代を対象としたキャンプ大会で4年に1回開催されています。今回は、2007年に開催された第21回世界スカウトジャンボリー会場の近く、エセックス州チェルムズフォードのポイトンクロスで開催されました。派遣メンバーは出発1か月前からオンラインで集会を始めたことで十分な準備により派遣を楽しむことができました。滞在中にはイギリス連盟本部のあるギルウェルパークにも訪問することができ、スカウト運動の創始者ベーデン-パウエル卿の想いに触れることができました。



大会概要

| | |
|-----|--|
| 名称 | イギリス・エセックス国際ジャンボリー派遣 |
| 期間 | 2024年7月26日(金)~8月7日(水) 13日間 |
| 場所 | イギリス・エセックス州ポイトンクロス |
| 派遣員 | 宮田久代団長(愛知連盟名古屋第101団団委員)、他指導者1人、スカウト8人、計10人 |

韓日スカウトフォーラム派遣 (韓国スカウト連盟招待計画)



韓日スカウトフォーラム派遣では、韓国のスカウトとの交流プログラムやフォーラムをとおして韓国文化、社会、歴史を体験するとともに、日韓両国スカウトがお互いに相手を尊重し、敬意、思いやりの心を持ちながら、国際的視野に立つ友好と相互理解を築く機会となりました。

大会概要

| | |
|-----|--|
| 名称 | 韓日スカウトフォーラム派遣 (韓国スカウト連盟招待計画) |
| 期間 | 2024年8月10日(土)~14日(水) 5日間 |
| 場所 | 韓国 全羅北道茂朱郡(ムジュくん) Sol-daback village およびアンソン高校 |
| テーマ | SDGs 11「Sustainable Cities and Communities」 住み続けられるまちづくりを |
| 派遣員 | 片寄朗団長(日韓スカウト交歓計画実行委員)、ベンチャースカウト16人 計17人 |





全国で展開されている

ボーイスカウトの夏季事業

ボーイスカウトは全国に拠点があり、それぞれの都道府県で活動を展開しています。

兵庫



Hyogo High-Adventure
Challenge 2024
(HHAC2024)

兵庫



第20回
兵庫連盟合同野営大会
(Hyocam 2024)

群馬



第13回
群馬県ベンチヤースカウト大会

九州
沖縄



第10回
九州・沖縄ブロック野営大会
(10KC)

長野



第19回
長野県キャンポリー

愛媛



第17回
愛媛県連盟野営大会

東海4県
連盟



第3回
ボーイスカウト東海4県連盟
合同野営大会



お住まいの地域の活動拠点はどこ？

日本連盟の Web サイトでは全国の活動拠点を検索することができます。あなたのお住まいの地域の活動拠点を探してみましょう！ 活動体験の申し込みも可能です。

<https://www.scout.or.jp/team>

お近くの団で
まずは体験



第13回 群馬県ベンチャー スカウト大会



ノリノリのキャンプファイア



川の探検隊

第13回群馬県ベンチャースカウト大会は、「海水浴」、「釣り」、「グルメ」の3つのニーズを実現できる大会を4人の高校生、大学生年代、そして若手指導者を交えて企画しました。高校生自身がキャンプ場選定・決定、要項・プログラムガイド・クックブック作成に携わったことが本大会の特徴の一つです。また、各自が事前にベンチャープロジェクト計画書を作成し、目的・目標をもって、大会に参加しました。天候が心配されましたが、予定のプログラムはすべて実施でき、達成感のある大会になりました。

保護者の方から「うちの娘（高校1年）は、小学6年生からコロナ禍でしたので、ボーイ隊（小6～中3）の活動がありませんでした。世界スカウトジャンボリーもコロナ禍の終わりかけで参加できましたが、ようやく今回の大会で、ボーイスカウトらしいことができ、本人も家族も喜んでます」とのご意見をいただきました。

参加スカウトからは「暑かったけど海と川を満喫できた。キャンプ場が綺麗で過ごしやすく、駅からの海やキャンプ場から見える景色がとても綺麗だった。配給の量が多すぎて食べ切るのが大変だったけど、牡蠣やサザエを食べたり、釣りをしたりと新潟を感じることができた。また、他のスカウトと更に仲良くなれた」との感想をいただきました。

大会を企画実施した全ての実行委員の方に、無事に終了できたことを感謝いたします。



釣りプログラム：石鯛ゲット！



上／つかの間の休憩：かき水
中／グルメプログラム：岩牡蠣にアタック
下／海水浴プログラム：安全指導



開会式：スカウトの「おきて」の唱和

大会概要

名称 第13回群馬県ベンチャースカウト大会
日程 8月16日（金）～18日（日）2泊3日
会場 青海川オートキャンプ場（新潟県柏崎市）
参加者 ベンチャースカウト15人、指導者6人
主催 日本ボーイスカウト群馬県連盟

大空へ向かって笑顔が弾ける瞬間



ランタンを見つめて一句



夕日を背に明日へ向かって大ジャンプ



お見とおし!



カブ・ビーバーデイ

大会概要

| | |
|-----|---|
| 名称 | 第19回長野県キャンポリー |
| 日程 | 2024年8月7日(水)～8月12日(月・祝) 5泊6日 |
| 会場 | しらかば2 in 1 スキー場(長野県立科町) |
| 参加者 | 470人(ボーイスカウト・ベンチャースカウト121人、ビーバースカウト+カブスカウト169人、来場者180人) |
| 主催 | 日本ボーイスカウト長野県連盟 |
| 後援 | 長野県教育委員会、立科町、立科町教育委員会 |
| 協力 | 立科町、桼山スノーテック株式会社、しらかば2 in 1 スキー場、株式会社池の平ホテル & リゾーツ、体験学習館ルミエール |



第19回 長野県キャンポリー

長野県キャンポリーは、1950年5月に第1回の野営大会(長野スカウト大会・長野市)を開催し、今回で19回目の開催となりました。

前回の第18回が2016年に開催されたので、2020年に開催するはずでしたが、コロナ禍の影響により延期となっていました。

県キャンポリーでは、参加者が県内のスカウト仲間と野営生活をしながら相互交流ならびに多彩なプログラムを共に体験することにより、子どもたちの友情を深める場を提供しました。

今大会では、その活動に対し、成人指導者(団・隊指導者)による「スカウト支援」の方法を見直す大きな転機と考え実行委員会を中心に検討し、楽しいプログラム内容としました。

現在の加盟員減少により、自隊では、本来の班活動が構築できない厳しい状況に結び付いています。

いうまでもなく、青少年だけがスカウ

トでなく、活動を支援する成人指導者もスカウトです。

自分たちの団だけでなく、地区や団を超えて組織する混成隊も含め、団(隊)相互補完、相互交流を実現できることを目標に、テーマである「X in 1」～仲間の力と心を合わせて～を掲げました。

「スカウト運動の原点」に回帰する意味でも、「地区内で団(隊)を越えた友好的な結びつき」「野営大会の楽しさ」それに「スキルプログラム」を満喫してもらうために開催しました。

班活動によるプログラム参加により、団や地区を超えて、多くの交流があり、友との絆づくりができました。

また、活動時の様子を班単位で写真に記録し、全体イベントとして写真コンテストにて活動の楽しさと笑顔を伝え合うことができました。

5泊6日の野営活動より、多くのスキルを学び、多くの友情をはぐくみました。



八ヶ岳と富士山を背景にビーナスラインからの眺望



富士山を捕らえた



暑さに負けないバケツリレー



第3回 ボーイスカウト 東海4県連盟 合同野営大会

高山から発信！「スカウトの絆」

第3回ボーイスカウト東海4県連盟合同野営大会を開催し、岐阜・静岡・愛知・三重のベンチャースカウト（高校生年代）が岐阜県高山市位山交流広場に集まりました。

この大会は8月2日（金）～7日（水）の5泊6日のキャンプ生活で、ベンチャースカウトが2人ないし3人のチームを作り、自分たちのプロジェクトとして本大会もしくはプログラムの準備に携わり、参加しました。

期間中は場内プログラム（火おこし、無線、SDGs プログラム、夢を語り合う討議、その他ゲームなど）や、岐阜の大自然で行われる場外プログラム（パラグライダー＆バギー、アスレチック、上高地トレッキング）、また高山の町で自分たちが計画したことを行う高山 DAY に積極的に取り組むとともに、開会式や閉会式にはベンチャースカウト自ら運営に関わったり、自分たちでパフォーマンスを披露したりと主体的なスカウトの姿が見られました。また、国外（台湾・韓国）からも同年代のスカウトが参加し、国際交流も盛んに行われました。

参加スカウトにとって、さまざまなプログラムやキャンプ生活をとおして、絆と視野を広げて将来のことを考える契機となりました。大会最終日には入場時と異なる表情を見せた東海4県のベンチャースカウト、彼らの今後の主体的な活動に大いに期待です。

さあ始めよう!! と力強く宣言したオープニング



心をひとつにしたクロージングセレモニー



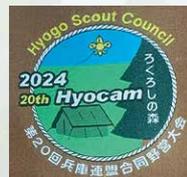
上/隊サイトでのくつろぎタイム
中/高原の風を感じたバギー体験
下/高山の足湯で学んだ SDGs



飛距離を競ったカタパルト（投石機）

大会概要

| | |
|-----|---|
| 名称 | 第3回ボーイスカウト東海4県連盟合同野営大会 |
| 日程 | 2024年8月2日（金）～7日（水） 5泊6日 |
| 会場 | 高山市位山交流広場（岐阜県高山市） |
| テーマ | 高山から発信！「スカウトの絆」 |
| 参加者 | 579人（国内：スカウト259人、スタッフ246人 海外：台湾44人、大韓民国30人） |
| 主催 | 日本ボーイスカウト岐阜県連盟／一般社団法人日本ボーイスカウト静岡県連盟／一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟／日本ボーイスカウト三重連盟 |
| 後援 | 岐阜県／岐阜県教育委員会／静岡県／静岡県教育委員会／愛知県／三重県／三重県教育委員会 |
| 協力 | 陸上自衛隊第10師団／高山市 |



豊かな森林が広がるろくろしの森キャンプ場



第20回 兵庫連盟合同野営大会 (Hyocam 2024)

大会概要

- 名称 第20回兵庫連盟合同野営大会 (Hyocam 2024)
 日程 2024年8月13日(火)～18日(日)
 会場 ろくろしの森キャンプ場 (兵庫県宍粟市)
 参加者 545人
 主催 日本ボーイスカウト兵庫連盟
 後援 兵庫県／兵庫県教育委員会／公益財団法人兵庫県青少年本部／宍粟市／宍粟市教育委員会／一宮町東公文自治会・森林組合／一般財団法人兵庫県ボーイスカウト振興会

兵庫のスカウト運動が歩んできた72年の時の流れを振り返り、「スカウティングの原点」を再認識する大会で、コロナ禍で8年ぶりに大会を開催し、県下の子どもたちが一同に集う最大の野営大会となりました。

林間にある自然木を用い、本来あるべきスカウト野営の姿を追求し、年間通して一緒に活動してきた班の仲間と工夫に満ちた多くの工作物を作り、生活しました。

野営生活をとおして、班活動を中心にハイキングや清掃活動など自発的に活動を行いました。また、手旗通信や地図読みなど日ごろの活動の成果を競い、キャンプファイアやアマチュア無線などを行いながら県下のスカウト仲間と交流しました。

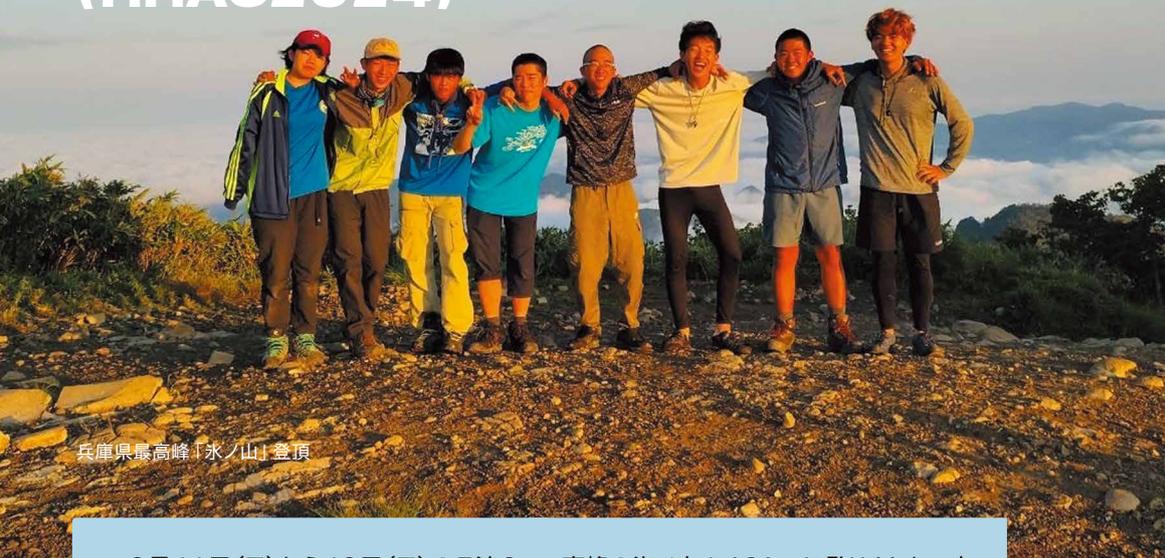
兵庫連盟は、最低5泊の長期野営を行うという目標を立てて年間つづじて活動してきました。当日は天気にも恵まれ、多くのスカウトが目標を達成し、充実した野営生活をおくりました。2年後の日本スカウトジャンボリーに向け、更なる活動を誓った大会となりました。

県下のビーバースカウト、カブスカウト向けの会場見学も行いました。また、台湾の桃園市から「桃園市童軍會」などの台湾派遣団19人を受け入れ、開会式や会場を見学しました。



台湾「桃園市童軍會」ら台湾派遣団の皆様

Hyogo High Adventure Challenge 2024 (HHAC2024)



兵庫県最高峰「氷ノ山」登頂

8月11日(日)から18日(日)の7泊8日間の日程で、HHAC2024を開催しました。参加者たちは、「風の鷲の勇者」の称号を目指し、7泊8日間の荷物を自分で背負い、約80kmを歩きました。

今回のHHAC2024は、期間をとおして好天に恵まれ、日中は猛暑にも見舞われましたが、無事に全員が体調を崩すことなくゴールできました。1日目は開会式・御厨神社の参拝、歓迎の営火を行い、この行事へ安全と決意を固めました。2日目は標高1,123mの三久安山越え、3日目は自分たちが製作した筏(いかだ)で音水湖を渡りました。4日目は兵庫県最

高峰の氷ノ山1,464mに登りました。山頂に宿泊した後、6日目はサーチ&レスキュー、登山道の整備を行いました。7日目は標高1,139mの藤無山を越えて、ろくろしの森キャンプ場に帰ってきました。今回は、8年ぶりの県合同野営大会の開催に伴い、閉会式では多くのスカウト仲間に見守られるなか、8人のスカウトが「風の鷲章」の表彰を受けました。この過酷なプログラムを終え、参加者たちには大きな自信と仲間との連帯感、更に準スカウト・富士スカウトを目指していく新たな目標が生まれました。今後の彼らの大きな飛躍を期待します。

参加にあたっての条件 菊章の取得、技能章(野営章・野外炊事章・救急章・水泳章)の取得

開催の目的 HHAC2024は、氷ノ山を頂点とする周辺1,000m越の山岳トレッキングに挑み、高度な野外活動の中で、未知への挑戦、自然との対峙、仲間との協力などをとおし人格形成を図ること

大会概要

- 名称 Hyogo High Adventure Challenge 2024 (HHAC2024)
 日程 2024年8月11日(日)～18日(日) 7泊8日
 会場 ろくろしの森キャンプ場(兵庫県宍粟市) 他
 参加者数 ベンチャースカウト 8人、ローバースカウト・指導者 12人
 主催 日本ボーイスカウト兵庫連盟



サーチ&レスキュー：遭難者を救助せよ！



踏跡不明の三久安山は難所の一つ



上/勇者8人に風の鷲章が授与されました
 中/全装備を積載して自作の筏で湖を渡る
 下/クルー全員で笑顔のゴール



第17回 愛媛県連盟 野営大会

松山市野外活動センターにて第17回愛媛県連盟野営大会を実施しました。本大会は新型コロナウイルス感染症拡大のため8年ぶりの開催となりました。

場内プログラムは、手旗で伝言を送り合う手旗信号リレー・まいぎり式での火起こしゲーム・大きな丸太を切るところから始め火をおこす麻ひも切ゲーム・竹をつなぎ高さを競う班旗立て競争を行いました。選択プログラムとしては、玉川ダム湖でのカヌー・カヤック体験・場内の巨木を利用したツリークライミングを行い、ワークショッププログラムとしては、四国中央市特産の水引を使用したストラップ作り、板に革を貼り付け研磨剤を流布した刃物の研磨に使われる革砥作りなどを行いました。連日気温35度近くの猛暑のなか、参加者たちは日ごろの活動で培った体力や技能、メンバーシップで全員が協力し挑戦しました。子どもたちは、飯盒（はんごう）炊飯や普段体験できないダイナミックなプログラムに楽しさや達成感を味わい、キャンプファイアでは、趣向を凝らしたスタンツやダンスを披露し大いに盛り上がりました。

また、開会式に先立ち、来年度より交流が始まる台湾嘉義市スカウト連盟関係者を招き国際交流協定書調印式を行い両連盟の末永い交流を約束しました。今回は指導者だけの来日でしたが、来年度からは子どもたちがお互いの国を交互に訪問し、キャンプ生活や各地でのホームステイを楽しむ交流がスタートします。

ツリークライミング



麻ひも切り



ワークショップ（水引きストラップ）



閉会式後全員で！



カヌー



班旗立て

大会概要

| | |
|-----|---|
| 名称 | 第17回愛媛県連盟野営大会 |
| 日程 | 2024年8月2日（金）～5日（月） 3泊4日 |
| 会場 | 松山市野外活動センター（愛媛県松山市）および玉川ダム湖（愛媛県今治市） |
| 参加者 | 259人（参加隊・奉仕者含） |
| 主催 | 日本ボーイスカウト愛媛県連盟 |
| 後援 | 愛媛県／愛媛県教育委員会／松山市／松山市教育委員会／愛媛新聞社／NHK松山放送局／南海放送／テレビ愛媛／あいテレビ／愛媛朝日テレビ／FM愛媛／愛媛CATV |
| 協賛 | 公益財団法人愛媛県スカウト運動維持財団 |

第10回 九州・沖縄ブロック 野営大会 (10KC)



第10回九州・沖縄ブロック野営大会は、九州・沖縄各県のボーイスカウト約600人が野営活動をとおりてスカウト同士の友情をあたため深めるとともに、日頃の活動の成果を十分に発揮することを期待し開催しました。人として最も大切な徳を磨き、自他ともに「命の大切さ」を体得する良い機会となりました。

今回は本大会に参加した沖縄県連盟の子どもたちが書いた「思い出感想文」の一部を紹介します。

- 訓練キャンプでは、最初は何をしてよいかわからずイスと友だちでしたが、だんだん自分から積極的に取り組むように意識して、洗いや料理を手伝えるようになりました。

- 最初は不安だったけど、いろんな県の人たちと友だちになることができ、とても楽しかったです。

- 大会期間中、みんなより早起きするよう意識したのですが、だんだん早起きする人が増えてきたので、毎朝ワクワクしていました。

- テントの中にでかい虫が入ってきて、最初は叫びそうになりましたが、3日目からは落ち着いて追い払えるようになりました。

- 閉会式の時、雷雨によりシェルターに避難し不安な気持ちになりましたが、みんなで「翼をください」を大合唱し不安な気持ちが吹飛びました。

- 疲れたけど、思い出がいっぱいできたので楽しかったです。

- 奉仕隊はあまり目立たない存在だと思っていましたが、閉会式では忙しいなか皆で練習したダンスを披露し、他のスカウトを巻き込んで楽しい閉会式を作り上げることができ、奉仕する楽しさや感謝される喜びを感じました。

- 次の日本スカウトジャンボリーや世界スカウトジャンボリーにも参加したいと思いました。



デイキャンプ(クララ幼稚園中庭)

大会概要

名称 第10回九州・沖縄ブロック野営大会(10KC)
 日程 2024年8月2日(金)～7日(水) 5泊6日
 会場 熊本県野外劇場アスペクタ(熊本県南阿蘇村)
 参加者 スカウト約600人(他ブロックおよび海外スカウト含む)
 運営スタッフ 約100人
 主催 日本ボーイスカウト九州・沖縄ブロック協議会

2026年夏季! 広島県神石高原町にて開催 /

第19回日本スカウトジャンボリー

19th NIPPON SCOUT JAMBOREE (19NSJ)

日本スカウトジャンボリーは、青少年の自己成長を促すための我が国のスカウト運動最大の教育イベントとして4年を周期に開催しています。全国のスカウト仲間と指導者、そして海外からの参加者を交え、スカウト教育の基本である野外活動や班制教育、また開催地域の特色やその時代の社会課題を取り入れたプログラムにより、新たな発見や感動を体感するとともに、スカウト同士の友情の絆を結びます。また、海外からの参加者との交流を通じて、国際感覚を高揚させ、世界平和を考える機会を提供しています。前回大会は、コロナ禍により全国に会場を分散して開催しました。第19回大会は、8年ぶりに全国、そして海外からの参加者が一堂に会して開催します。



神石高原ティアガルテン



帝釈峡

写真提供：一般社団法人神石高原町観光協会



■ 大会概要

1. 会場 / 広島県神石郡神石高原町

神石高原町は、広島県東部、標高約500mの中国山地に位置し、人口約8,000人、381km²の森林に囲まれた高原の町です。広島県福山市の中心地・JR福山駅から約38km、山陽自動車の福山東インターから約36km、いずれからも国道182号を經由して車で1時間弱。中国自動車道の東城インターから車で約27km・30分。

2. 会期 / 2026年(令和8年)8月4日(火)~10日(月) 6泊7日間

参加者は、入場から退場まで6泊7日間をキャンプ生活で過ごします。運営スタッフは、参加者より2日前に入場し、1日後に退場するので9泊10日間で基本に交替などにも対応します。

3. 参加者

ボーイスカウトおよびベンチャースカウトを中心とした参加隊により、8,000人規模で開催し、青年・成人の大会運営スタッフにより運営します。参加者以外にも会場を訪れる見学者の受入を予定しています。



■ ジャンボリー活動・プログラム

1. 全体行事

開閉会式と大会中日の「ジャンボリー大集会」は、参加者が一堂に集まりセレモニーやステージイベントを実施します。

2. プログラム

第2日~第6日までの3日ないし4日をプログラムの日として、午前・午後の単位で6~8つのテーマに分けたプログラムを計画し、参加者はすべてのテーマのプログラムに参加します。

プログラムの構想

- ▶ 高原地での長期キャンプを快適に過ごすための工夫、ゆとりある野営生活の定着
- ▶ 災害時を想定したプログラム、限られた環境での生活
- ▶ 神石高原町および周辺地域の歴史、文化、自然を体験、学ぶことのできるプログラム
- ▶ 「ちかい」と「おきて」の実践や、平和や恵みについて考えるプログラム

大会ロゴマークを募集します

19NSJでは参加者および全国のスカウト関係者一同で共有する大会のロゴデザインを募集します。応募の詳細については、日本連盟 Web サイトなどに掲載し募集を開始しますので、今後の情報を参照してください。



年代別に展開されるスカウト運動

※一部抜粋



Cub Scout

カブスカウト

小学校3年生の4月から



Boy Scout

ボーイスカウト

小学校6年生の4月から



Venture Scout

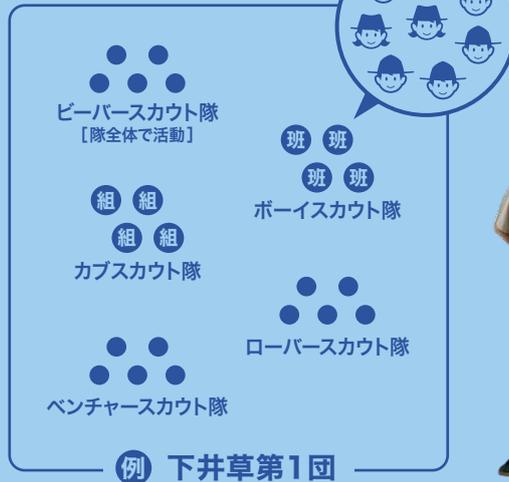
ベンチャースカウト

中学校3年生の9月から

Beaver Scout

ビーバースカウト

小学校1年生の4月から
(就学直前の1月から仮入隊できる)



Rover Scout

ローバースカウト

18歳から26歳

ボーイスカウトと聞くとイメージするのはキャンプやハイキング、そして街頭募金などよく言われます。ボーイスカウト活動は、野外で、子どもたちの自発性を大切に、グループでの活動を通じて、それぞれの自主性、協調性、社会性、たくましさやリーダーシップなどを育てていきます。そのプログラムはバラエティに富んでいて、各年代においてもさまざまです。

1907年にイギリスではじまった青少年教育活動は、今では世界で176の国と地域、5,700万人以上、日本には団と言われる活動母体がおおよそ1,700あり、約8万人が活動しています。ぜひ、お住まいの地域の団を検索して、お問い合わせください。

POINT

01



青少年の自発活動であること。

POINT

02



青少年が、誠実、勇気、自信、および国際愛と人道主義を把握すること、健康を築くこと、人生に役立つ技能を体得すること、社会に奉仕するための人格・健康・技能・奉仕を4本柱としていること。

POINT

03



幼児期から青年期にわたる各年齢層に適應するよう、年齢に応じた部門があり、それぞれのプログラムが一貫していること。



お住まいの地域の活動拠点はどこ？

日本連盟 Web サイトでは全国の活動拠点を検索することができます。あなたのお住まいの地域の活動拠点を探してみましょう！ 活動体験の申し込みも可能です。

<https://www.scout.or.jp/team>

